

会派「新風とよおか」視察調査報告書

- 1 視察日 平成30年8月5日(日)～7日(火)
- 2 視察先
- 東京交通会館(コウノトリの恵み豊岡)
豊岡市アンテナショップ/兵庫
千代田区有楽町2-10-1
 - 植村直己記念館
板橋区蓮根2丁目21番5号
 - 衆議院第2議員会館(918号室)
千代田区永田町2丁目1番2号
 - 国会議事堂(衆議院)
千代田区永田町1丁目7番1号
 - 自民党本部
千代田区永田町1丁目11-23
- 3 研修テーマ 兵庫県北部但馬地域の課題について
- ① 羽田空港・コウノトリ但馬空港直行便について
 - ② 北近畿自動車道、山陰近畿自動車道について
 - ③ 自治体病院の在り方と今後の課題
 - ④ 森林環境税について
 - ⑤ 専門職大学について
- 4 視察者
- | | |
|------|-------|
| 幹事長 | 木谷 敏勝 |
| 副幹事長 | 関貫久仁郎 |
| 副幹事長 | 上田 倫久 |
| 会計 | 田中藤一郎 |
| | 浅田 徹 |
| | 岡本 昭治 |
| | 清水 寛 |
| | 土生田仁志 |

はじめに

会派「新風とよおか」は、幹事長以下8名の団体に衆議院第2議員会館での勉強会と国会議事堂の見学を主眼に視察を行った。初日(8/5)は、コウノトリ但馬空港から5月7日より運航した新型機ATR42-600で但馬⇒伊丹(乗り換え)⇒羽田へ向かった。

有楽町駅で下車し、東京交通会館の中にあるアンテナショップ「コウノトリの恵み豊岡」へ行った。その後、暑さに負けず板橋区蓮根にある「植村直己記念館」へ行く。猛暑のため汗びっしょり、ホテルに帰りシャワーを浴びる。最高の気分です。

衆議院第2議員会館での勉強会を主な視察研修と決め計画した。8月6日(月)は、3コマ。その後、国会議事堂内部を見学した。国会中継でテレビではよく見かける本会議の議場だが、さすがに凄いです。国会議事堂の玄関先で記念写真を撮る。

次に、自民党本部 4 階へ行き総裁室に入れていただいた。総裁の椅子の前で記念写真をとる。凄いところばかりでビックリです。

8月7日(火)は、2コマ。素晴らしい講師(対応者)のお陰で充実した有意義な勉強会でした。ありがとうございました。地元の兵庫・但馬・豊岡に帰ってからもここで学んだ研修を活かしたいと思います。

1 勉強会(衆議院第2議員会館918号室)

日時・場所	研修項目	講師
8月6日(月) 10:00-10:30 衆議院第2議員会館918号室	① 羽田空港・コウノトリ但馬空港直行便について	(株)日本航空 国内路線事業部 伊藤雄介 部長 政策業務部 北尾和也 氏
8月6日(月) 10:45-11:45 衆議院第2議員会館918号室	② 北近畿、山陰近畿自動車道について ③ 羽田・コウノトリ但馬空港直行便について	国土交通省 道路局企画課 川村補佐 道路局国道・技術科 吉沢補佐、日野係長 航空局航空ネットワーク部 航空事業課 未満課長補佐
8月6日(月) 13:00-14:00 衆議院第2議員会館918号室	④ 自治体病院の在り方と今後の課題	総務省 自治財政局公営企業課公営企業室 佐藤弘康 係長 戸馬田 晴之 事務官
8月7日(火) 10:00-11:00 衆議院第2議員会館918号室	⑤ 森林環境税について	林野庁 計画課 牧野秀史課長補佐 総務省 自治税務局市町村税課 本橋 弘行 係長
8月7日(火) 11:00-12:00 衆議院第2議員会館918号室	⑥ 専門職大学について	文部科学省 渋谷秀行 高等教育局 大学改革官

研修テーマ①

【羽田空港・コウノトリ但馬空港直行便について】

1 対応者

- 日本航空株式会社 国内路線事業部 伊藤雄介 副部長
- 日本航空株式会社 政策事業部 北尾和也 氏

2 講義内容

但馬線の利用状況は、兵庫県、豊岡市など地元の人との連携した需要喚起の取り組みにより但馬＝伊丹線の旅客数、座席利用率は着実に向上している。

羽田線開設に向けた課題

- ① 羽田空港発着枠・・・定期航空輸送に割り当てられた羽田空港の発着枠は全て配分済となっており、新たに但馬線を開設するためには他路線における減便が必要である。但馬空港への乗り入れが可能な航空機（ATR42：48席）と他の羽田発着便の輸送規模を勘案すると、減便により収入が大きく悪化する。
- ② 航空機の確保・・・鹿児島を基地空港とするJACは羽田便を運航していないため、羽田便を運航する場合には伊丹⇒但馬⇒羽田⇒但馬⇒伊丹（伊丹への機材回しは屋久島経由）となる。JACとしては離島便2往復分の機材が不足することから別途機材を確保する必要がある。その他JACの羽田空港乗り入れのための生産体制整備（設備・人員など）が必要になる。
- ③ 伊丹線の存続・・・現在＝伊丹線の3～4割は首都圏からの乗継需要が占めているため、伊丹線の収支は大幅に悪化する。

研修テーマ②③

【北近畿豊岡自動車道、山陰近畿道の今後の展望】

【羽田空港・コウノトリ但馬空港直行便】

1 対応者

- 国土交通省 道路局企画課 川村補佐
- 国土交通省 道路局国道・技術科 吉沢補佐、日野係長
- 国土交通省 航空局航空ネットワーク部 航空事業課 末満課長補佐

2 講義内容

「北近畿豊岡自動車道」（一般国道483号）について

一般国道483号北近畿豊岡自動車道は、豊岡市を起点として丹波市に至る延長約70kmの高規格幹線道路で、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域を直結し、さらには京阪神都市圏との連結を強化し、地域の活性化を支援する自動車専用道路です。

北近畿自動車道は、各事業ごとに整備を進めており、平成17年4月17日及び平成18年7月22日に春日和田山道路、平成24年11月24日に和田山八鹿道路、平成29年3月25日に八鹿日高道路が暫定2車線で開通した。引き続き、日高南道路、豊岡道路の整備を進めている。日高豊岡南道路（L=6.1km：事業中）、豊岡道路（L=2.0km：平成28年度事業化、平成30年9月27日：起工式）

「山陰近畿自動車道」は、平成6年に地域高規格道路の計画路線として指定された延長約120km（鳥取県内：約26km、兵庫県内：約51km、京都府内：約43km）の道路「鳥取豊岡宮津自動車道」の通称で、鳥取県・兵庫県・京都府域において整備を推進している。地域高規格道路とは、全国的な幹線道路ネットワークである高規格道路と一体となって、地域相互の「連携」や「交流」の促進、空港・港湾などの広域交流拠点との「連携」などの役割を担う道路で自動車専用道路、またはこれと同等の高い規格を有し、60～80km/hの高速サービスを提供する。

山陰近畿自動車道の整備状況は、事業中は、岩見道路、浜坂道路II期、大宮峰山道路であり、調査中は、香住道路～（豊岡北）～大宮峰山道路である。

研修テーマ④

【自治体病院の在り方と今後の課題】

1 対応者

○総務省 自治財政局公営企業課準公営企業室 佐藤 弘康係長

○総務省 自治財政局公営企業課準公営企業室 戸馬田晴之事務官

2 講義内容

○地域医療構想の進め方について【公立病院に関すること】

厚生労働省医政局地域医療計画課長通知（平成30年2月7日）

（1）地域医療構想調整会議の協議事項

ア、個別の医療機関ごとの具体的対応方針の決定への対応

病院事業を設置する地方公共団体は、「新公立病院改革ガイドライン」

（平成27年3月31日付け総財準第59号総務省自治財政局長通知）を参考に、公立病院について、病院ごとに「新公立病院改革プラン」を策定した上で、地域医療構想調整会議において、構想区域の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向を踏まえて、平成29年度中に、平成37（2025）年に向けた具体的対応方針を決定すること。また、具体的対応方針を決定した後に、見直す必要が生じた場合には、改めて地域医療構想調整会議で協議すること。この際、公立病院については

- ① 山間へき地・離島など民間医療機関の立地が困難な過疎地帯等における一般医療の提供
- ② 救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供

- ③ 県立がんセンター、県立循環器病センター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
- ④ 研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能等の役割が期待されることに留意し、構想区域の医療需要や現状の病床稼働率等を踏まえてもなお①～④の医療を公立病院において提供することが必要であるのかどうか、民間医療機関との役割分担を踏まえ公立病院でなければ担えない分野へ重点化されているかどうかについて確認すること。

○経済財政運営と改革の基本方針 2018（平成 30 年 6 月 15 日閣議決定）

（1）社会保障

【医療・介護提供体制の効率化とこれに向けた都道府県の取組の支援】

地域医療構想の実現に向けた個別の病院名や転換する病床数等の具体的対応方針について、昨年度に続いて集中的な検討を促し、2018 年度中の策定を推進する。公立・公的医療機関については、地域の医療需要等を踏まえつつ、地域の民間医療機関では担うことができない高度急性期・急性期医療や不採算部門、過疎地等の医療提供等に重点化するよう医療機能を見直し、これを達成するための再編・統合の議論を進める。

研修テーマ⑤

【森林環境税について】

1 対応者

- 林野庁 計画課 牧野秀史課長補佐
- 総務省 自治税務局市町村税課 本橋弘行係長

2 講義内容

平成 30 年度税制改正大綱（平成 29 年 12 月 22 日 閣議決定）

「森林吸収源対策に係る地方財源の確保」

次期、通常国会における森林関連法令の見直し*（今国会に森林経営管理法を提出）を踏まえ、平成 31 年度税制改正において、以下を内容とする森林環境税（仮称）及び森林環境贈与税（仮称）を創設する。

（1）森林環境税（仮称）の創設【平成 36 年度から課税】

- ・納税義務者等 : 国内に住所を有する個人に対して課する国税
- ・税率 : 1,000 円（年額）
- ・賦課徴収 : 市町村が個人住民税併せて賦課徴収
- ・国への払い込み : 都道府県を經由して全額を国の譲与税特別会計に払い込み
- ・その他 : 個人住民税に準じて非課税の範囲、減免、納付・納入、罰則等に関して所要の措置

（2）森林環境譲与税（仮称）の創設【平成 31 年度から譲与】

- ・譲与総額 : 森林環境税（仮称）の収入額（全額）に相当する額
- ・譲与団体 : 市町村及び都道府県
- ・譲与基準
 - （市町村） : 総額の9割に相当する額を私有林人工林面積（5/10）、林業就業者数（2/10）、人口（3/10）で按分
*私有林人工林面積については、林野率により補正
 - （都道府県） : 総額の1割に相当する額を市町村と同様の基準で按分
- ・用途
 - （市町村） : 間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発の等の森林整備及びその促進に関する費用
 - （都道府県） : 森林整備を実施する市町村の支援等に関する費用
- ・用途の公表 : インターネットの利用等の方法により公表

(3) 制度創設時の経過措置

○平成35年度までの間における森林環境譲与税（仮称）は、交付税及び譲与税配布金特別会計における借入金により対応。

○平成36年度から平成44年度までの間においては、森林環境税（仮称）の収入額から借入金の償還金及び利子の支払いに要する費用とに相当する額を控除。

○制度創設当初は、都道府県への譲与割合を2割とし、段階的に1割に移行。

研修テーマ⑥

【専門職大学について】

1 対応者

○文部科学省 高等教育局大学改革官 澁谷秀行 氏

2 講義内容

課題1 専門職大学・専門職短期大学の特徴は？どんな学生に向いていますか？

- ・実習等を重視したカリキュラムにより、実践的な職業教育を実施→ やりたい仕事、なりたい職がすでに決まっている「スペシャリスト志向」の学生。
- ・地域の産業ニーズに対応した、かつ特定職種の専門性にとどまらない幅広い知識等を習得する教育課程の編成→高度な実践力を身に付け、わが国の成長分野や地域産業の変革の担い手となりたい学生。
- ・専門高校卒業生や社会人経験者など、入学の多様性に配慮した入学者選抜を努力義務化→専門高校で学んだ経験を活かして進学したい学生。
- ・授与される学位は、「学士（専門職）」「短期大学士（専門職）」

課題2 どのような分野の専門職大学・専門職短期大学が開設されるか？

- ・産業界や地域のニーズに対応した、以下のような分野での開設が検討・期

待されている。〈例〉農業、情報、観光、医療・保健、クールジャパン分野（マンガ、アニメ、ゲーム、ファッション、食など日本が強みとする諸分野）等。

課題3 これまでの大学・短期大学との違いは何か？

- ・実務家教員が数多く配置され、最新の活きた知識・技術を教授—必要な専任教員の4割以上を実務家教員とするよう設置基準で規定
- ・産業界等と緊密に連携した「実践的」な教育課程を編成—卒業要件単位の概ね1/3以上の実習等により修得。長期の企業内実習（インターシップ）を必修。（4年で600時間以上）
- ・産業界や地域の関係者の意見を反映し、地域の産業ニーズに対応した教育課程を編成—「教育連携協議会」を設置し、産業界及び地域社会の意見を取り入れる仕組みを導入
- ・同時に授業を行う学生数は、原則として40人以下

2 その他

8月5日（日） 14：15-14：45 東京交通会館	「コウノトリの恵み豊岡」 <アンテナショップ>	店長 緒方京子 氏
8月5日（日） 16：00—16：30 板橋区蓮根	植村冒険館	館長 中野義明 氏 学芸員 内藤智子 氏
8月6日（月） 14：30-15：30	国会議事堂内見学（衆議院）	谷 公一事務所 秘書 磯 篤志 氏
8月6日（月） 15：45-16：00	自民党本部（4階）総裁室	谷 公一事務所 秘書 磯 篤志 氏

衆議院第2議員会館での勉強会を主な視察研修と決め計画した。8月6日（月）は、3コマ。その後、国会議事堂内部を見学した。国会中継でテレビではよく見かける本会議の議場だが、さすがに凄いところです。国会議事堂の玄関先で記念写真を撮る。次に、自民党本部4階へ行き総裁室に入れていただいた。総裁の椅子の前で記念写真をとる。凄いところばかりでビックリです。

素晴らしい講師（対応者）のお陰で充実した有意義な勉強会でした。ありがとうございました。地元の兵庫・但馬・豊岡に帰ってからもここで学んだ研修を活かしたいと思えます。

後、議員会館から有楽町駅⇒浜松町駅からモノレールで羽田空港第1ビル駅。羽田空港 15:30⇒伊丹空港（乗り換え）⇒但馬空港 17:35 無事到着した。

兵庫選出の衆議院議員 谷 公一 先生。秘書の磯 篤志 様。大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



衆議院議員 谷 公一先生と共に



衆議院第2議員会館 918号室にて